



ディ・シイ<5234>、エバタ<5278>をTOBで完全子会社化



ディ・シイは子会社のエバタに対し、完全子会社化を目的にTOB（株式公開買い付け）を実施することを決議した。ディ・シイの現在の株式所有割合は51.0%。エバタはTOB成立後に上場廃止となる。

ディ・シイはエバタと2005年に資本・業務提携し、原材料の販売や経営ノウハウの提供などの業務支援を行ってきた。2007年には発行済み株式の過半数を取得し連結子会社化した。エバタは上下水道や雨水貯留浸透などの管路製品の製造・販売を主力としているが、価格競争の激化や原材料費の高騰などで収益が悪化している。ディ・シイは同社を完全子会社化することで、資産・設備の有効活用による合理化や原材料の共同購入によるコストダウンなどグループとして企業価値の最大化を図る。

TOBの買付価格は1株当たり220円。公表前営業日の対象株式の終値152円に対して44.74%のプレミアムを加えた。買付予定数は620万3347株で、買付予定額は13億6473万6340円。公開買付期間は2008年2月15日から3月18日までを予定している。